

ちょうさ

湖岸でマイクロプラスチック調査



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

私たちの周りには、プラスチックでできたものがたくさんあるね。
その中には、1回使えばすてられてしまうものもある。
ごみになったプラスチックが、海をよごし、
海でくらす生きものたちを苦しめることもある。
さて、びわ湖は？



参加費
無料

自由研究に
ピッタリ!

ちょうさい

プラごみ調査隊

対象：小学3~6年生とその保護者 各会場20組(申込先着順に受付)

湖岸の砂浜におけるマイクロプラスチックの状況について調査し、プラスチックごみ問題の現状について
楽しく学べるイベントを開催します。この調査は大津、近江八幡、彦根の3か所で実施し、
参加した子どもたちが集まって報告しあう「報告会」も予定しています。

大津会場

8月6日(火)

9時~12時

びわ湖大津館
(大津市柳が崎 5-35)

近江八幡会場

8月20日(火)

9時~12時

集合場所：ローカス琵琶湖
(近江八幡市佐波江町 1-1)

彦根会場

9月7日(土)

9時~12時

滋賀県立大学
(彦根市八坂町 2500)

おしえてくれる人



滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
佐藤祐一さん

主催：しがローカルSDGs研究会
(一社)海と日本プロジェクト in 滋賀県
マザーレイクゴールズ推進委員会
びわ湖とプラスチックごみ問題について考える MLGs 協働テーブル

協力：大津市市民活動センター
里山みんなの未来くらぶ
滋賀県立大学廃棄物バスターズ、
滋賀県立大学まちづくり研究室(鶴飼研究室)

後援：滋賀県
日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト
「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催します。

申し込みは裏面から



滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

びわ湖 びわういち

専門研究員 佐藤祐一さん

京都大学大学院環境地球工学専攻を2003年に修了。民間の建設コンサルタントを経て2006年に琵琶湖環境科学研究センターに入庁、2018年より現職。環境システム工学を専門としており、流域スケールでの水文・水質・生態系モデリングを行う傍ら、滋賀県内において多様な主体の協働による環境保全・再生事業に従事。琵琶湖版SDGsである「マザーレイクゴールズ (MLGs)」の案内人代表も務める。

おしえてくれる人

大津会場

8月6日(火) 9時~12時
集合: 9時びわ湖大津館前

会場: びわ湖大津館1Fホール
(大津市柳が崎5-35)

※プラごみ研究会「Rキッズ」の子どもたち(約20名)と一緒に活動します。



大津会場への
申込み→



近江八幡会場

8月20日(火) 9時~12時
集合: 9時ローカス琵琶湖
(近江八幡市佐波江町1-1)

会場: 島コミュニティセンター
(近江八幡市島町1671-1)

※湖岸で調査後、学習会会場(島コミュニティセンター)まで参加者ごとに車でご移動いただきます。(車で約10分かかります。)



近江八幡会場
への申込み→



彦根会場

9月7日(土) 9時~12時
集合: 9時滋賀県立大学
地域共生センター駐車場

会場: 滋賀県立大学交流センター
(彦根市八坂町2500)

※湖岸で調査後、学習会会場まで徒歩でご移動(徒歩約15分)いただきます。



彦根会場への
申込み→



3会場共通

もちもの 汗ふきタオル、水とう(飲み物)、スコップ、ぐんて、筆記用具、動きやすいくつで、ぼうしも忘れずに。

プログラム (予定) 9:00 ~ 湖岸でごみひろいをした後、砂浜でマイクロプラスチック調査を開始します。
9:45 ~ 会場(室内)へ移動します。
~ 12:00 マイクロプラスチックの観察や記録、プラスチックごみに関する学習会を行います。
※プログラムは、変更になる場合があります。

※雨天が予想される場合は、集合場所が「学習会の会場」となります。前日までにメールで連絡します。
※報告会は、10月12日(土)イオンモール草津での開催を予定しています。詳細は追ってお知らせします。